

【創造】【充実】【発展】 高い志と思いやりの心を持ち、自ら学びたくましく生き抜く生徒の育成
～ 笑顔と感動のあふれる大潟中 ～



サルビア

大潟中学校
学校だより
NO. 8 R5.1.27
文責 小野貴幸

2023年もよろしくお祈いします

新年あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、皆様、お元気にお過ごしのこととお喜び申し上げます。幸いなことに冬休み中学生たちは、大きな事故等もなく、安全で充実した冬休みを過ごしていたようです。今後、3年生にとっては将来の進路に大きく関わる受験期を迎えることとなります。授業中の真剣な表情や、積極的に先生方や友達に質問する姿から学習意欲の高まりが感じられます。全校一丸となって、3年生全員の進路実現をサポートしていきたいと思ひます。また1、2年生にとっても1年間の学習、生活を振り返り、次年度に向けて準備を整えていく大切な時期に差し掛かっています。各学年で、新年の目標を立てたいと思ひます。目指す自己の姿に少しでも近づくことができるように、日々努力を積み重ねていってほしいと思ひます。

寒波の到来による冷え込みや新型コロナウイルスやインフルエンザの感染など、生徒を取り巻く環境はまだまだ油断ができない状況ではありますが、今年も大潟中学校は地域とともにある学校として、生徒たちが心豊かに、健康でたくましく成長できるように、教職員一丸となって教育活動を充実させていきたいと思ひますので、本年も変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

2023.1.16 冬休み明け集会

学年代表の生徒が新年の抱負を語りました

冬休み明けの1月16日(月)に行われた全校集会で、各学年の代表生徒が新年の抱負を語りました。どの生徒の発表からも、今後の学校生活を前向きな気持ちで取り組んでいこうとする熱い思いが伝わってきました。発表を聞いた生徒たちも共感するところが多かったのではないのでしょうか。自分の思いや考えを自分自身の言葉で、聞き手に分かりやすく伝えるという機会を大切にしていきたいと思ひます。以下に3名の発表を紹介します。

冬休みの反省と後期後半の目標 3年A組 清〇〇花さん

長かった冬休みも明け、いよいよ受験が近づいてきました。3年生のほとんどは塾の冬季講習に通っていることだと思ひます。去年の私は「勉強と部活を完璧にやり遂げた」とは言い切れる自信はなく、部活動を理由にして勉強から逃げていました。今年は受験があり、勉強に対する考え方を改めました。そこで、夏から塾に通い始めることにしました。

塾の夏季講習は1日8時間で、1週間に休みは2日しかありませんでした。初めの頃は慣れませんでした。日にちを重ねるにつれ、先生へ質問できるようになり、分かることやできることがどんどん増えていきました。そうしていくうちに夏が終わり、秋が過ぎ、冬季講習が始まりました。この夏から冬にかけての期間で私が気を付けたことは、塾が休みの日の時間の使い方、年末年始の過ごし方です。「塾で勉強をしているから」といって休みの日を無駄に過ごしてしまうと何も変わらないと思ひ、できるだけ朝に勉強するようにしました。塾の先生に「夜は1日の終わりでエネルギーが残っていないので、朝に勉強した方が良い」と言われて、私もその通りだと思ひ、実行に移しました。でも、朝は寒くてなかなか布団から出られないという悩みは皆さんがもっていると思ひます。でも、受験は待ってくれないので、私は頑張って起きるようにしています。年末年始の過ごし方については、大晦日と元日は絶対勉強できないと思ひ、諦めてしまいました。この甘さがこれからの課題です。皆さんはどのように過ごしましたか。

3年生ひとりひとり志望校は異なりますが、笑顔で春を迎えることができるように、みんなで力を合わせて、頑張って行きたいと思ひます。

2023年の自分 2年A組 井〇〇来さん

2023年の井上海来について紹介します。

ひとつめは学習です。冬休みは苦手な教科を重点的に取り組みながら、過ごしてきました。英語は単語や文法、数学は公式の確認など基本から取り組みました。冬休み明けの今日からは、先生の話の中で大事だといわれた所はしっかりとおさえて、疑問点はその日のうちに先生や友達に聞いて、解決していきたいです。また、2023年は受験生になる年です。効率よく学習をするために、得意な教科ばかりやらずに、苦手な教科にも時間をかけて取り組んだり、テストで間違えた問題はそのままにせず、解き直しをしたりしていきたいです。

ふたつめは部活動です。冬休みの練習では、練習試合で見つかった課題や欠点を中心に、平日に課題練習を行い、次の練習試合で同じミスをしないようにすることを繰り返してきました。そのため、練習試合では似たようなミスをするのが前よりも少なくなってきました。夏の大会の目標は個人戦も団体戦も優勝して全県大会に出場し、全県大会で一回でも多く勝つことです。

実は目標がもう一つあります。これは目標と言うより、野望かもしれません。それは「今の3年生の記録を超えること」です。理由は、今の3年生は常に支えてくれた存在であり、尊敬しているからです。全県大会で先輩達の借りを返したいです。夏の大会は自分達にとって最後の大会になるので悔いのないようなプレーができる自分になりたいです。

ちなみに団体戦は4人だと優勝しても全県大会に出場できません。全県大会に出場するには、最低6人の選手が必要なので、新入生に弟や妹がいる人は、卓球部に入部して、全県大会を目指そうと話をしてください。男子は最低2人、女子は最低3人入部してほしいです。よろしくお祈いします。



《1年 小〇〇介さん》



《2年 井〇〇来さん》



《3年 清〇〇花さん》

「冬休みの反省と後期後半の抱負」 1年A組 小〇〇介さん

冬休みを振り返ると良かった点と悪かった点がありました。良かった点は、ふたつあります。

ひとつめは、計画的に冬休みの課題を進めることができたことです。夏休みの時は、自分のやりたいことを優先してしまったことで最終日まで課題が残り、夏休み後半は余裕がもてず、とても後悔しました。冬休みでは、夏休みのようなことが起こらないように計画をしっかりと立て、計画通りに課題を進めました。計画的に進めることで、余裕をもって生活することができました。

ふたつめは、野球の練習に集中して取り組むことができたことです。冬休みの課題を計画的に取り組むことで、部活動にも思いっきり励むことができました。また、今まではあまり自主練習をしていませんでしたが、冬休みの間は毎日素振りや走り込みをしました。その成果か、冬休み前よりも、成長できた気がしています。

悪かった点は、生活リズムが崩れてしまったことです。夜遅くに家庭学習に取り組んでしまったことで、寝る時間が遅くなってしまいました。冬休みは、「生活リズムを直すこと」を目標としましたが、なかなか直すことができませんでした。自分で立てた目標を達成できなかったことが冬休みの反省点です。

後期後半の抱負は、ふたつあります。

ひとつめは、勉強を頑張ることです。後期後半は、家庭学習の取り組み方を見直したいです。冬休みは苦手な教科の克服に向けて、一つの教科に絞って勉強しましたが、後期後半では、全教科をまんべんなく学習したいです。また、授業で学習したことを定着させるためにも、予習と復習をしっかりとやりたいです。

ふたつめは、体調管理をしっかりとし、新型コロナウイルス負けない強い体をつくることです。そのため、早寝早起きや手洗いうがいを心掛け、健康で規則正しい生活を送りたいです。

